

日本語教育部

■2017 度

日本語教育部では、1年に春学期と秋学期の2回日本語コースを提供し、本学に在籍する留学生や各部局の留学プログラムに対応している。このほか、日本語教育関連プロジェクトや各種の留学プログラムの企画・運営も行っている。

1. 日本語教育関連プロジェクト

▼日本語サポーターの日本語クラス参加

2013年度より日本人学生による留学生支援や留学生との交流の促進を目的に日本語サポーターバンク制度を取り入れている。国際教育センターホームページ上で日本語サポーター募集クラスを公開し、日本人学生の日本語クラスへの参加の機会を提供している。2017年度は様々な学部にも所属する学生計37名が新規登録をし、主に初中級レベルのクラスに参加した。前期後期と年間を通して参加した学生や、コース終了後も留学生との交流を続ける学生もいた。

http://www.isc.ynu.ac.jp/course/course/japanese_students.html

▼学内 SS プログラム生等の特別クラスの開催

- ・2017年7月6日に半沢がベトナム国家大学ハノイ校経済経営大学の学部生15名に対し、“Introduction to Japanese Language”と題した講義を担当した。
- ・2017年秋学期に日越大学 MBA プログラムの学生15名を受け入れ、特別クラスおよび開講中のクラスで学生の受け入れをした。
- ・2018年2月5日に半沢が華東師範大学 MBA コース学生13名に対し、“Introduction to Japanese Language”と題した講義を担当した。

▼学内行事「第7回 YNU 日本語スピーチ大会」開催

平成 29 年 12 月 12 日、教育文化ホール大集会室にて第 7 回 YNU 日本語スピーチ大会を開催した。本学で学ぶ留学生 12 名が「私にとって一番大切なもの」というテーマでそれぞれの思いを日本語で表現した。当日は留学生を含む本学学生、本学教職員の他、日ごろ留学生支援に携わるボランティアの方々等総勢 150 名が来場した。審査の結果、最優秀賞はロシアからの留学生で、日本語・日本文化研修プログラム生のボルトネフスカヤ・ユーリヤさんが受賞した。なお、今回のスピーチ大会は国際交流の機会を促進するという目的のもと「国際理解：国際交流における日本語の役割」クラスの受講者に原稿のチェックやスピーチの練習の手伝いをお願いし、当日もスピーチ大会の運営に携わってもらった。スピーチ大会当日の様子は本大会後援でもある読売新聞にて（12/13）紹介された。

▼公開講座「日本語教育と国際交流―留学生との対話を通じて―」開催

2017 年 6 月 3 日（土）と 2018 年 2 月 17 日（土）に公開講座「日本語教育と国際交流―留学生との対話を通じて―」を開催した。二日間で計 29 名の高校生が参加し、また両日とも 3 名の留学生がゲストとして参加した。講座の前半は主に国内外の日本語教育についての講義を実施し、後半は留学生を交えた活動の時間とした。

2. 日本語教育コース

▼全学講習日本語コース／JOY 日本語プログラム

「全学講習日本語コース」は、研究生を含む本学の留学生対象のコースである。「JOY 日本語プログラム」は、短期交換留学プログラムの学生を対象とするプログラムで、国際交流科目として開講された日本語科目である。研究生や大学院生が修了条件を満たした場合には、修了証を発行している。尚、本プログラムの概要、受講手続等については、年 2 回『日本語プログラムパンフレット』を発行し、国際教育センターホームページにおいても公開している。

▼日本語研修コース

日本語研修コースは、前期は予備教育生（大学院進学予定の国費研究留学生）を、後期は予備教育生および教員研修留学生を対象とした15週のコースであり、レベル等によって、7～9コマの日本語科目の受講を義務付けている。

▼YCCS プログラム

YCCS プログラム生（1期生6名、2期生10名、3期生10名、4期生10名、5期生12名）が卒業要件となっている日本語授業を受講した。

▼学部教養教育：外国人留学生のための授業科目

教養教育科目「日本語中級」8コマ、「日本語上級」14コマ、「日本語演習」3コマ、「日本事情」2コマ開講し、年間延べ約340人の学生が受講した。

▼英語による特別プログラムの日本語科目

2017年度秋学期に以下の英語による特別プログラムの日本語科目を開講した。

- ・国際社会科学研究所財務省国税局提携による特別プログラム（MPE）
- ・インフラストラクチャー管理学 博士課程前期コース（IMP）

3. 各種留学プログラムの運営

▼日韓共同理工系学部留学生事業（日韓プログラム）

2017年度10月には第2次事業7期生7名の日韓生を受け入れ、半年間の予備教育を担当した。日本語クラスは、4技能を全体的に養成するクラスを4コマ、理工系日本語表現法1コマの5コマを必修としたほか、レベルに応じて計3コマを選択科目として履修させた。そのほか、日韓プログラムために特別開講した「理工系留学生のための英語」クラス1コマ、「留学生のための理工学入門」クラス2コマを履修させて、専門教育の充実を図った。

さらに、大学での理系科目講義に慣れるために、理工学部教員の指定する学部理系科目講義を1コマ聴講し、その予習・復習を個人チューターとともに行うよう指導した。そのほか、2回にわたり、千葉大学・東京工業大学との合同の講演会およびプレゼンテーション発表会を行った。

▼横浜国立大学国際プログラム・世宗大学校日本交流プログラム

韓国の世宗大学校と本学教育人間科学部の部局間協定に基づいた授業料徴収型短期留学プログラム「横浜国立大学国際プログラム・世宗大学校日本交流プログラム(通称世宗プログラム)」が、半年の試行期間を経て正式実施の5期目に入り、4月～2月までの11ヶ月間、20名の学生を受け入れた。学生は日本語科目16単位、専門科目4単位を履修、その単位は世宗大学校で互換単位として認定される。日本語教育部は教育人間科学部世宗プログラム委員および教務課基盤教育係の協力を得ながら、日本語を含む学務指導のみならず、生活指導を含む受け入れ業務全般を担当した。

▼日本語・日本文化研修留学生（国費）の受け入れ

2014年度より、日本語日本文化研修生（国費）の受け入れを開始し、現在、4期生6名（2017年10月～2018年8月、ロシア、ブルガリア、モンゴル、シンガポール、ペルー、スロベニア（大学推薦））が、日本学プロジェクト、日本語科目等を履修している（各学期12単位以上）。これまでは、1期生4名（ブルガリア1 インドネシア1 タイ2）、2期生3名（韓国、フランス、ベルギー）、3期生3名（ハンガリー、ミャンマー、韓国（大学推薦））を受け入れてきた。

▼科目等履修生制度の実施

神奈川県下の大学に在籍する留学生を対象に、日本語科目を履修できる制度として、科目等履修生として受け入れる制度を作り2017年3月、9月に募集を行った。

▼YNU日本語サマープログラムの実施

2017年7月3日～14日にYNU日本語サマープログラムが実施された。25名の留学生が参加し、午前中は日本語の授業を、午後は英語で行われる日本事情・日本文化に関する講義を受けた。プログラムの最終日には日本の文化について各自興味のあるテーマで日本語によるポスター発表を行った。

なお、2期目に当たる今回は、協定校からの要望を受け、大学院入試相談の機能を持たせ、関連するゼミや個別面談を実施した。

▼横浜国立大学日本語・日本文化プログラム

2016年10月より新しく授業料徴収型短期留学プログラムである横浜国立大学日本語・日本文化プログラムを立ち上げた。国際戦略推進機構と相手大学の学部等との部局間協定を結び、修学期間は1年または6ヶ月とする。学生は原則として国際戦略推進機構が開講する日本語科目、および講義科目（日本語による日本事情科目、国際理解科目および英語によるYCCS科目）を年間20単位（6ヶ月の場合は10単位）履修する。その単位は派遣大学で互換単位として認定される。2017年には台湾の淡江大学から9名、文藻外語大学から10名の学生を受け入れた。文藻外語大学の5名は3月末で帰国、4月からはさらに5名の学生を1年間受け入れる。日本語教育部はプログラム委員および学務部国際教育課国際教育係の協力を得ながら、学務指導のみならず、生活指導を含む受け入れ業務全般を担当した。

▼留学生と日本人学生の協働実践活動による地域国際理解教育への貢献

・公益財団法人中島記念国際交流財団助成による留学生地域交流事業の助成を受け、留学生による在県外国人等特別募集卒生徒への学習支援、在県外国人等特別募集卒生徒を含む高校生と留学生・日本人学生の交流 地域国際理解教育をテーマとしたセミナーの開催を行った。

▼文部科学省「留学生就職促進プログラム」春季特別集中講義「就活のためのビジネス日本語」開催

本学は文部科学省「留学生就職促進プログラム」選定大学となっているが、プログラムの一環として、2018年3月26日（月）、27日（火）の両日、留学生対象春季特別集中講義「就活のためのビジネス日本語」を開催した。「①講師が紹介する資料やwebsiteからの情報収集、②5～6名のグループ作業およびグループ・ディスカッションによる情報交換、③他グループとの情報共有」を参加

者が主体的に進めるという内容で、本学、および横浜市立大学から留学生7名が参加した。

▼国内・海外出張

- ・2017年8月18日に金が韓国国立国際教育院を訪問し第3次日韓プログラムについて安ソンウン教育研究士他関係者との協議・情報収集を行った。
- ・2017年9月1日～2日に金が韓国・世宗大学を訪問し関係者との世宗プログラムに関する意見交換を行い、併せて修了生との交流会に参加した。
- ・2017年9月3日に、韓国・韓国国立国際教育院にて開催された日韓プログラム推進フェアにて金が参加し、本学進学希望者に対する相談・通訳に努めた。
- ・2018年3月7日に金が協定校である韓国・世宗大学を訪問し、世宗大学日本語交流プログラムの派遣予定者に対し、プレイスメントテストの実施及び事前オリエンテーションを行った。併せて関係者と派遣に関する意見交換を行った。
- ・2017年3月12日に半沢および金が協定校である台湾・淡江大学を訪問し、横浜国立大学日本語・日本文化プログラムについての説明会を開催した。併せて関係者と派遣に関する意見交換を行った。
- ・2017年5月に、小川が協定校であるベトナムダナン大学を訪問し、総長、学部長から今後の日本語教育に関する連携の在り方について提案を受けるとともに、日本学科教員向けに日本語教育に関するセミナーを行った。
- ・2018年3月に、小川が協定校である華東師範大学を訪問し、日本学科の教員及び学生を対象に日本語教育学研究に関する講演会を行った。
- ・2018年3月12日～26日、四方田（垂水）が協定校である北京師範大学を訪問し、「台湾文学中的日本表象」と題する6回の連続公開講演会を行った。

▼研究者の受け入れ

- ・2017年6月から12月まで外国人客員研究員として米国ケンタッキー大学の長谷川敦志助教授の受け入れをした。

・2017年11月18日から12月1日まで、横浜国立大学国際交流基金による外国人研究者招へい事業の助成を受け、協定校である華東師範大学の徐敏民先生をお迎えし、学部生、大学院生向け講演会を開催した。

http://kikin.ynu.jp/contribution/thanks_message/employee.html#thanks_e

1